

「学級や集団の力を生かす体験学習法指導者講習会」

1. 趣旨 冒険教育の手法や考え方について体験を通して学び、学校教育や学級経営、社会教育等の場で活用できる、集団の中での望ましい人間関係づくりや個人の成長を促すための指導技術を身につける。

2. 事業の概要

(1) 期 日 令和5年4月29日(土)〔日帰り〕

(2) 参加者 9名(学校関係者・シニアリーダー・学生・など)

		10代	20代	30代	40代	50代	合計
第1回 4月29日	男性	0名	3名	1名	1名	0名	9名
	女性	0名	3名	0名	0名	1名	
合計		0名	6名	1名	1名	1名	

3. 企画運営のポイント

- (1) MAP(みやぎアドベンチャープログラム)研究会の協力のもと、PAやMAPの手法を活かした集団作りについて、体験を通して学ぶ機会とする。
- (2) コロナウイルス感染症の影響で学級や集団作りに悩んでいる教育関係者等に対して、新しい生活様式と連動した学級経営について考える機会とする。

4. 日程

9:30		12:00 13:00		16:00 16:30	
開講式	演習① アイスブレイク グループでの課題解決	昼食	演習②・③ グループでの課題解決 ワークショップ 学校教育に生かす体験学習の展開	質疑応答	閉講式

5. 主な活動内容



【数多くのアイスブレイクを体験】



【参加者全員で試行錯誤しながら課題解決】



【課題解決についての振り返り】

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果 ※アンケート回収率100%

	4	3	2	1
① 事業全体	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
② プログラム内容	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
③ 事業運営	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
④ 職員の指導・助言	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 参加者の声

- ・楽しい活動の中で集団で活動する上で大切なことを実感することができてとても勉強になる1日でした。学級の中で今日の学びを生かしていきたいと思います。
- ・MAPの具体的な実践について学ぶことができてとても勉強になり、楽しかったです。
- ・新しい内容を知ることができたことはもちろん、島渡りの活動の達成感は取り組んだ人でないと分からないと思うほど充実していました。試行錯誤する時間も大事な時間だと思いました。日々の取り組み、実践にも通じるとは思います、トライエンドエラーと振り返りが大事だと再確認しました。自分が楽しく過ごせたので自分が実践するときもそのような雰囲気をつくっていきたいです。
- ・初めて事業に参加しましたが、思い切って申し込んでよかったです。1日中、夢中になれました。

(3) 成果

- ・MAP研究会と協力して行うことで、学級や教育事業など実際の指導場面をイメージできるような構成で活動を進めることができた。
- ・コロナウイルス感染症対策のため、活動が制限される中で、消毒、ソーシャルディスタンスなど感染対策を講じた上で実施する方法を共有できるよい機会となった。
- ・ホワイトボード・ミーティング®の手法を活用することで、ファシリテーターとして指導現場での話し合い活動や振り返りの方法などを共有することができた。

(4) 課題

- ・学校事情から考えて参加者への事業案内や広報が難しい。内容的には、参加者の満足度が高いが参加者数が少ないところに課題がある。先生方へ出前講座等を行い、もっとMAPの手法を広めていくなど、参加者を増やすための策を講じていく必要がある。

担当：企画指導専門職 鎌田 浩徳